



## 2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月11日

上場会社名 株式会社Sun Asterisk 上場取引所 東  
 コード番号 4053 URL <http://sun-asterisk.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 泰平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 服部 裕輔 TEL 03-6419-7655  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	2,604	42.9	305	△26.7	177	△54.7	134	△59.5
2021年12月期第1四半期	1,822	29.5	417	39.2	391	29.2	332	23.8

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 345百万円 (△19.5%) 2021年12月期第1四半期 429百万円 (71.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	3.57	3.33
2021年12月期第1四半期	9.03	8.22

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	10,392	6,932	66.7
2021年12月期	8,395	6,586	78.4

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 6,931百万円 2021年12月期 6,585百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	42.0	1,710	21.2	1,830	16.2	1,500	15.2	39.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期 1 Q	37,739,000株	2021年12月期	37,733,500株
② 期末自己株式数	2022年12月期 1 Q	106株	2021年12月期	106株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期 1 Q	37,736,999株	2021年12月期 1 Q	36,839,991株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(企業結合等関係) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、緩やかながら経済社会活動の持ち直しの動きが見られました。一方で、新たな変異株の新規陽性者数が著しく増加しており、依然として本格的な成長回復過程には時間を要するものと見込まれます。

当社グループがサービスを提供するデジタル・クリエイティブスタジオ関連市場においては、新型コロナウイルスへの対応を行い、新しい生活様式が定着していく中で、リモートワークや各種サービスのデジタル化が広く浸透してきています。また、ビジネスシーン以外においても様々なサービスにおいてデジタルトランスフォーメーションが進むことが予想されます。

こうした経営環境の中、当社グループは、顧客の課題に応じて必要なサービスを提供すべく、「デジタル・クリエイティブスタジオ事業」という単一セグメントの中で、顧客と一緒にデジタルプロダクトを創造していく「クリエイティブ&エンジニアリング」と、デジタルプロダクトの創造に必要な人材を発掘・育成し、顧客に輩出していく「タレントプラットフォーム」という2つのサービスラインを展開し、顧客数及び顧客単価の拡大を重点課題として取り組んでいます。

「クリエイティブ&エンジニアリング」においては、既存顧客からの継続・安定した堅調な受注と、新規顧客の増加が継続していることにより、当第1四半期連結累計期間におけるストック型顧客数は98社、月次平均顧客単価は5,244千円、売上高は2,316,171千円となりました。「タレントプラットフォーム」においては、売上高は288,197千円となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高2,604,369千円（前年同期比42.9%増）、売上総利益1,217,781千円（前年同期比27.3%増）、営業利益305,652千円（前年同期比26.7%減）、経常利益177,432千円（54.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益134,731千円（前年同期比59.5%減）となりました。

なお、当社グループは、デジタル・クリエイティブスタジオ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載していません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は10,392,281千円となり、前連結会計年度末に比べ1,996,782千円増加しました。これは主に、資金の借入により現金及び預金が1,779,838千円、「クリエイティブ&エンジニアリング」の売上の増加により売掛金が72,582千円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は3,460,116千円となり、前連結会計年度末に比べ1,650,625千円増加しました。これは主に、短期借入金1,818,000千円の増加によるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,932,165千円となり、前連結会計年度末に比べ346,156千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金134,731千円、為替換算調整勘定203,260千円の増加によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月9日の「2021年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,729,288	7,509,126
受取手形及び売掛金	988,840	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,061,423
仕掛品	101,177	79,740
その他	306,407	350,982
貸倒引当金	△17,513	△21,582
流動資産合計	7,108,200	8,979,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	174,962	184,288
減価償却累計額	△132,764	△144,866
建物及び構築物(純額)	42,197	39,421
工具、器具及び備品	233,501	233,585
減価償却累計額	△173,977	△171,223
工具、器具及び備品(純額)	59,523	62,361
有形固定資産合計	101,720	101,783
無形固定資産		
のれん	597,035	579,450
その他	2,920	2,161
無形固定資産合計	599,956	581,611
投資その他の資産		
投資有価証券	409,578	431,318
繰延税金資産	33,713	37,462
その他	167,012	285,451
貸倒引当金	△24,682	△25,035
投資その他の資産合計	585,621	729,196
固定資産合計	1,287,298	1,412,591
資産合計	8,395,499	10,392,281
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	229,563	276,129
短期借入金	—	1,818,000
1年内返済予定の長期借入金	140,732	112,109
未払金	61,019	65,339
未払費用	268,280	216,232
未払法人税等	207,564	50,012
前受金	278,746	—
契約負債	—	224,904
賞与引当金	50,689	172,739
その他	279,886	255,755
流動負債合計	1,516,482	3,191,221
固定負債		
長期借入金	218,622	147,761
資産除去債務	32,637	32,989
繰延税金負債	—	7,508
その他	41,748	80,635
固定負債合計	293,007	268,894
負債合計	1,809,490	3,460,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,704,244	1,704,464
資本剰余金	1,689,244	1,689,464
利益剰余金	3,052,192	3,186,924
自己株式	△272	△272
株主資本合計	6,445,409	6,580,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,091	10,816
為替換算調整勘定	137,223	340,483
その他の包括利益累計額合計	140,314	351,300
新株予約権	284	284
純資産合計	6,586,008	6,932,165
負債純資産合計	8,395,499	10,392,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	1,822,281	2,604,369
売上原価	865,624	1,386,587
売上総利益	956,657	1,217,781
販売費及び一般管理費	539,389	912,129
営業利益	417,267	305,652
営業外収益		
受取利息	24,965	6,067
助成金収入	870	—
その他	9	263
営業外収益合計	25,844	6,330
営業外費用		
支払利息	468	1,755
為替差損	50,773	130,795
その他	0	2,000
営業外費用合計	51,242	134,550
経常利益	391,869	177,432
特別利益		
固定資産売却益	—	73
特別利益合計	—	73
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	391,869	177,506
法人税等	59,225	42,774
四半期純利益	332,643	134,731
親会社株主に帰属する四半期純利益	332,643	134,731

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	332,643	134,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	416	7,725
為替換算調整勘定	96,614	203,260
その他の包括利益合計	97,030	210,985
四半期包括利益	429,673	345,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,673	345,716
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っていますが、当該会計基準の適用による当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。収益認識会計基準等を適用したことにより、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」として、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っていません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。

当該会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

国内において、依然として収束時期等の予測は困難ですが、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、デジタル・クリエイティブスタジオ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2021年9月15日に行われた株式会社Trysとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しています。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

507,341千円

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力により発生したものです。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却